

科目区分	専門教育科目	科目名	介護総合演習Ⅰ		科目コード	17F580	担当者	荒木 正平、植木 明子、 田川 千秋			
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
介護福祉士コースのカリキュラムにおける「介護総合演習」の位置付けについて理解する。 介護実習全体の構成や、「実習Ⅰ」と「実習Ⅱ」の枠組みの違いについて理解する。 介護実習の目的や意義について理解する。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性 ・ 真摯性	② 多様性 ・ 協働性	③ 知識 ・ 技能	④ 思考 ・ 創造 ・ 判断力	⑤ 実行 力性 ・ 自立性	⑥ 就業 力 ・ 貢献力
1.	介護実習全体の構成や概要を理解する。					◎	○	○	◎	○	○
2.	通所介護と認知症対応型共同介護等の利用者像を理解する。					◎	○	○	◎	○	○
3.	実習事前学習と事後学習の意義と目的を理解する。					◎	○	○	◎	○	○
4.						◎	○	○	◎	○	○
5.						◎	○	○	◎	○	○
授業方法						成績評価の方法と割合					
コース教員が連携し、授業を進める。介護・福祉現場の状況がイメージでき、実習効果をあげ、達成感を持てるよう、事例を挙げながら授業する。学生の発表の機会を多くし、グループワークを取り入れる。						提出物（40%） 受講態度（20%） 実習先の評価（20%） 実習の記録（20%）					
準備学修						課題等への対応					
教科書、配付資料をよく読んで授業に臨むこと（30～40分程度）。						個別の相談・調整を密に行い、適宜対応する。					
授業計画											
第1回	介護総合演習の位置づけとその目的の理解										
第2回	介護実習の区分（【実習Ⅰ】【実習Ⅱ】それぞれの概要等）について、実習先の概要について										
第3回	具体的な実習内容の把握（本校における介護実習の捉え方）と、実習要項・実習要領の確認										
第4回	実習施設について（通所介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護）										
第5回	介護実習Ⅰに向けて：メンバー発表、実習計画書、誓約書、実習施設の概要など記入										
第6回	ロールプレイ見学によるシミュレーション学習										
第7回	事前訪問の留意点、実習前後の学習の進め方とその意義・目的について										
第8回	記録の意義と作成要領（実習日誌等）、利用者・職員とのコミュニケーションに関する留意点										
第9回	実習心得、通勤の心得、礼状の書き方とその目的について										
第10回	介護実習Ⅰの振り返りと必要書類の確認・作成										
第11回	介護実習Ⅰ報告会										
第12回	実習関係書類（日誌等）の見直しと各チューター個別指導、文献学習										
第13回	地域交流活動報告会										
第14回	介護実習Ⅱに向けて：メンバー発表、実習計画書、誓約書、実習施設の概要など記入										
第15回	実習要綱・要領の確認、実習施設について（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設）										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト 「介護総合演習・介護実習」中央法規出版						介護実習に臨むにあたっての基礎的な知識を修得し、実習中はもちろん、その前後の取り組みの目的、意義について理解を深めます。 すべての科目における学びが、実習に繋がっていることを理解し、意欲的に学習に取り組んでください。					